

診療科別コース一覧【皮膚科】

令和6年4月1日

○ キャリア形成支援機関及び診療科別コース

各診療科別コースは新プログラム向けに策定されています。旧プログラム選択者については、新プログラム向けの診療科別コースを参考にキャリア形成プランを作成します。

千葉大学医学部附属病院

皮膚科／非常勤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

順天堂大学医学部附属浦安病院

皮膚科・・ 2

国際医療福祉大学成田病院

皮膚科・・ 3

東邦大学医療センター佐倉病院

皮膚科・・ 4

日本医科大学千葉北総病院

皮膚科・・ 5

診療科別コース(当初作成日:令和元年11月18日)

1 概要

診療科(基本領域)	皮膚科
キャリア形成支援機関	千葉大学医学部附属病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	皮膚科 科長代理 猪爪 隆史
問合せ先	043-226-2505 derma-hp@chiba-u.jp
コースの特長	<ul style="list-style-type: none"> 非常勤を組み合わせることで義務年限内での勤務を想定 関連病院(B群、県内病院群)へ勤務中も可能な限りA群病院群への非常勤を行う予定

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
皮膚科専門医	医師免許取得後8年目
アレルギー専門医	医師免許取得後8年目以降
がん治療認定医	医師免許取得後8年目以降
医学博士	医師免許取得後8年目以降
皮膚悪性腫瘍指導専門医	医師免許取得後9年目以降
医真菌専門医	医師免許取得後9年目以降
美容皮膚科・レーザー指導専門医	医師免許取得後9年目以降

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	
状況	臨床研修	専門研修(皮膚科)								
		基幹	連携	連携	連携	連携	連携			
勤務先 医療機関※	臨床研修病院群		C, A 非	B, C, A 非		B, C, A 非, *				

※勤務先医療機関: 県内の臨床研修病院

A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

A非…地域A群非常勤での勤務、B非…地域B群非常勤での勤務、C非…県内病院群非常勤での勤務

*:4年間、大学院にて医学研究を行い、博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

地域A群 ※いずれかで非常勤勤務を予定	地域B群	県内病院群
国保匝瑳市民病院 東陽病院 大網白里市立国保大網病院 香取おみがわ医療センター 国保多古中央病院 いすみ医療センター 国保直営総合病院君津中央病院 国保直営君津中央病院大佐和分院 東千葉メディカルセンター	千葉県済生会習志野病院 千葉労災病院 船橋市立医療センター 総合病院国保旭中央病院 成田赤十字病院 帝京大学ちば総合医療センター	千葉大学医学部附属病院 千葉市立青葉病院 千葉医療センター 千葉メディカルセンター 千葉県がんセンター

【非常勤勤務について】

想定される勤務シフト(週の勤務日数等)

- 地域A群の病院における週1~2日の非常勤での勤務を、猶予期間も利用して5~10年間(常勤換算方法:0.2~0.4年×5~10=合計2年)

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> 原則非常勤での勤務であることから、千葉県内の様々な病院への勤務ができ、地域のニーズや現状を知ることができる。 猶予期間を含めると専門医、医学博士号取得が可能なコースである。

(注意事項)

- 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース(当初作成日:令和3年9月2日)

1 概要

診療科(基本領域)	皮膚科
キャリア形成支援機関	順天堂大学医学部附属浦安病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	皮膚科 科長・教授 須賀 康
問合せ先	047-382-1883 ysuga@juntendo.ac.jp
コースの特長	千葉県内の複数の病院で一般皮膚科、アレルギー皮膚科、小児皮膚科、皮膚外科、皮膚病理などを学ぶことができます。病院内に併設される環境医学研究所で研究を行うと医学博士の取得も可能です。

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
皮膚科専門医	医師免許取得後8年目
皮膚悪性腫瘍指導専門医	医師免許取得後9年目
美容皮膚科・レーザー指導専門医	医師免許取得後9年目
医学博士	医師免許取得後6年目

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	
状況	臨床研修	専門研修(皮膚科)								
		基幹	連携	基幹	連携	基幹				
勤務先 病院※	臨床研修病院群		B	B	B	B		A		

※勤務先病院:臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

地域A群	地域B群	県内病院群
さんむ医療センター	順天堂大学医学部附属浦安病院 東京女子医科大学附属八千代医療センター タムス浦安病院 北習志野花輪病院 津田沼中央総合病院 船橋中央病院 船橋市立医療センター	

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

医師免許取得後7年目には原則的に皮膚科専門医試験を受験して、100%合格できる様な指導を各施設でおこないます。また、アレルギー皮膚科、小児皮膚科、皮膚外科、皮膚病理などをなるべく多く経験して、自身の得意分野を最低1つは持つ様に指導します。志のある者は、病院内に併設される環境医学研究所の大学院生として研究を行ない、4年間で医学博士の取得も可能です。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース(当初作成日:令和5年8月29日)

1 概要

診療科(基本領域)	皮膚科
キャリア形成支援機関	国際医療福祉大学成田病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	皮膚科 部長 菅谷 誠
問合せ先	0476-35-5600
コースの特長	さまざまな研究や治療を経験したい、といった個々の希望に対応することが可能。

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
皮膚科専門医	医師免許取得後8年目

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
状況	臨床研修	専門研修(皮膚科)							
		基幹	連携	連携	連携	連携			
勤務先 医療機関※	臨床研修病院群		B	B	B	B	B	A	A

※勤務先医療機関: 県内の臨床研修病院

A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

A非…地域A群非常勤での勤務、B非…地域B群非常勤での勤務、C非…県内病院群非常勤での勤務

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

地域A群	地域B群	県内病院群
県立佐原病院	国際医療福祉大学成田病院 国際医療福祉大学市川病院 新松戸中央総合病院	

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

皮膚科は悪性黒色腫などの悪性腫瘍からアトピー性皮膚炎、乾癬、白癬、脱毛症、褥瘡など幅広い疾患を取り扱うことが特徴です。それぞれの皮膚科医が common disease を診ることができると同時に、自身の専門分野をもって診療に当たっています。入局後に、手術をたくさんやりたい、アトピー性皮膚炎の研究をしたい、褥瘡のさまざまな治療を経験したい、といった個々の希望に対応することが可能です。

当皮膚科学教室のモットーは、

1. 医師どうしやメディカルスタッフも含め、助け合いの精神を持つ
2. 大学病院にいる意味を考え、診療、教育、研究いずれかで貢献する
3. カルテ記載や検査、検体の保存など、ひと手間を惜しまない

としています。

成田という国際色豊かな立地を活用し、海外からの患者さんを受け入れ、また海外の学会への参加や留学を積極的に行い、国際的に認められる皮膚科医を育成していく所存です。皮膚科学への貢献を目指して、一緒に歩んでいただける熱意のある方を歓迎いたします。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース(当初作成日:令和2年9月28日)

1 概要

診療科(基本領域)	皮膚科
キャリア形成支援機関	東邦大学医療センター佐倉病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	東邦大学医療センター佐倉病院 皮膚科 診療科責任者 教授 樋口 哲也
問合せ先	043-462-8811
コースの特長	・日本アレルギー学会認定アレルギー専門医の取得も可能。 ・希望により、大学院生として医学博士の学位も取得可。

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
皮膚科専門医	医師免許取得後8年目
アレルギー専門医	医師免許取得後8年目以降
医学博士	医師免許取得後8年目以降

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	
状況	臨床研修	専門研修(皮膚科)								
		基幹	基幹	連携	連携	基幹				
勤務先 病院※	臨床研修病院群	B	B	B	A	B	A	B		

※勤務先病院: 臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

地域A群	地域B群	県内病院群
公立長生病院	東邦大学医療センター佐倉病院 亀田総合病院	

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

- ・地域の皮膚改良の拠点病院として機能し、病診連携を重視し多数の症例を経験することができる。
- ・専門外来として、乾癬外来、アレルギー・膠原病外来、ダーモコップ外来、フットケア外来などを設けており、豊富な経験を積むことができる。
- ・原則として1～2年目および5年目に基幹病院である当院で研修を行うが、その間は研修の継続や社会人大学院へ入学、連携施設での研修など、専攻医の希望に沿った研修を行う。
- ・研究の面でも、院内の実験設備を用いた独自の研究や連携施設との共同研究を行い、乾癬の病態に関わる因子の同定や膠原病皮膚病変発症機序の解析、薬疹の診断法などの研究も行っている。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。

診療科別コース(当初作成日:令和元年11月18日)

1 概要

診療科(基本領域)	皮膚科
キャリア形成支援機関	日本医科大学千葉北総病院
診療科別コース管理者 所属職氏名	皮膚科 部長・教授 神田奈緒子
問合せ先	0476-99-1111 n-kanda@nms.ac.jp
コースの特長	・幅広い医療機関から就業先を選択可能 ・大学院での学術研究により博士取得可能

2 取得可能な資格、知識、経験等

取得可能な資格、知識、経験等	備考(標準的な取得時期等)
皮膚科専門医	医師免許取得後8年目
医学博士	医師免許取得後8~9年目

3 キャリアパスのイメージ(想定就業例であり将来的な配置を約束するものではありません)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
状況	臨床研修	専門研修(皮膚科)								
		基幹	連携	連携	連携	基幹				
勤務先 病院※	臨床研修病院群	B	猶予 (県外)*	B*					A	

※勤務先病院: 臨床研修病院群…キャリア形成プログラム【新プログラム】に定める県内の臨床研修病院
A…地域A群、B…地域B群、C…県内病院群、猶予…県外での勤務等による猶予
*:3~4年間, 大学院にて学術研究を行い, 博士号取得

4 勤務が想定される医療機関(将来的な配置を約束するものではありません)

地域A群	地域B群	県内病院群
香取おみがわ医療センター 東陽病院 千葉県立佐原病院 国保直営総合病院君津中央病院	日本医科大学千葉北総病院 新松戸中央総合病院	

5 診療科別コース管理者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連病院を中心にかなり自由度の広い診療科別コースとなっているので、いろいろな病院で経験を積めます。 ・ 診療科別コース管理者を中心としたサポート体制が充実しています。 ・ 専門研修期間中、日本医科大学附属病院 1年間の研修が必修であり、高度先進医療のトレーニングを受けることが可能です。

(注意事項)

- ・ 実際の勤務先等はその時点での診療科の事情や猶予期間(妊娠・出産・育児・介護等、学位取得や留学等)等の影響を受けるため、上記の内容と異なる場合があります。
- ・ 診療科別コースを選択した上で、診療科別コース管理者との相談等を通じて個別の事情を考慮したキャリア形成プランを作成します(旧プログラム選択者についてもこの例を参考にキャリア形成プランを作成します)。